

# 2026年3月期 決算補足説明資料

株式会社Misumi

2026年5月13日

# 目次

---

1. 2026年3月期 業績ハイライト（連結）
2. 業績サマリー（連結）
3. 売上高・営業利益の推移
4. セグメント別 売上高・営業利益
5. 2027年3月期 業績見通し

# 1. 2026年3月期 業績ハイライト（連結）

- 売上高：600億36百万円（前年同期比 ▲3.7% ↓）
- 営業利益：9億59百万円（前年同期比 +18.6% ↑）
- 経常利益：14億円（前年同期比 +4.4% ↑）
- 親会社株主に帰属する当期純利益：8億39百万円（前年同期比 ▲19.0% ↓）

## ▶ 減収要因：仕入単価下落に伴う販売単価の下落、販売数量の減少（▲23億30百万円 ↓）

- 1 燃料油・LPガスの売上減少（要因：販売数量の減少・販売単価の下落）
- 2 外食部門の売上増加（要因：新店舗のオープンによる影響、KFCイオン延岡店(2025年6月)、KFC日南店・韓井出水店(2026年3月)  
※前期出店：KFCイオン鹿屋店(2024年11月)、KFC中山町店(2024年12月)、韓井七ツ島店(2025年3月)）
- 3 建設部門の売上減少（前期大型物件の反動）、タイヤ販売本数の減少

## ▶ 増益要因：営業利益の増加（+1億50百万円 ↑） ①粗利高 +5億26百万円、②販管費・一般管理費 +3億76百万円

- 1 粗利高の増加（要因：外食の新規出店、エネルギーの採算販売の浸透 等）
- 2 販管費の増加（要因：人件費の増加、外食の新規出店・改装費用 等）

# 1. 2026年3月期 業績ハイライト（連結）

- 売上高：600億36百万円（前年同期比 ▲3.7% ↓）
- 営業利益：9億59百万円（前年同期比 +18.6% ↑）
- **経常利益：14億円（前年同期比 +4.4% ↑）**
- **親会社株主に帰属する当期純利益：8億39百万円（前年同期比 ▲19.0% ↓）**

▶ **増益要因：経常利益の増加（+58百万円 ↑）** ① 営業外収益 ▲7百万円、② 営業外費用 +84百万円

営業外費用増加（要因：銀行借入金の金利上昇に伴う利息の増加、閉鎖SSの除却経費発生(旧七ツ島SS)等）

▶ **減益要因：親会社株主に帰属する当期純利益の減少（▲1億97百万円 ↓）**

- ① 前期は投資有価証券の売却益による影響（利益 + 1億61百万円）
- ② 前期と当期における税金費用の差

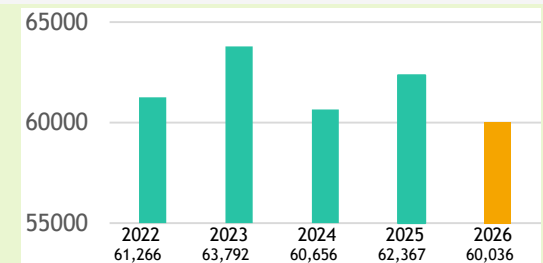
## 2. 業績サマリー（連結）

	2026年3月期	2025年3月期	増減額	増減率	(百万円)
売上高	60,036	62,367	▲2,330	▲3.7%	
営業利益	959	808	150	18.6%	
経常利益	1,400	1,342	58	4.4%	
当期純利益	839	1,037	▲197	▲19.0%	

### ①（売上高） ▲23億30百万円 減収 ↓

- ・ 石油 ▲1,552百万円（燃料油の販売単価下落、数量減少等）
- ・ ガス ▲1,067百万円（LPガスの販売単価の下落）
- ・ 外食 + 472百万円（新規出店舗の売上増加）

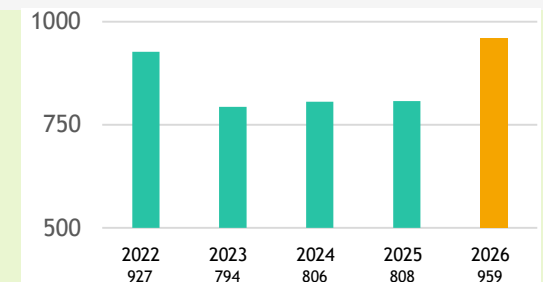
2期ぶりの減収↓



### ②（営業利益） +1億50百万円 増益 ↑

- ・ ガス +146百万円（ガス配送売上増加等 ⇒ 利益の増加）

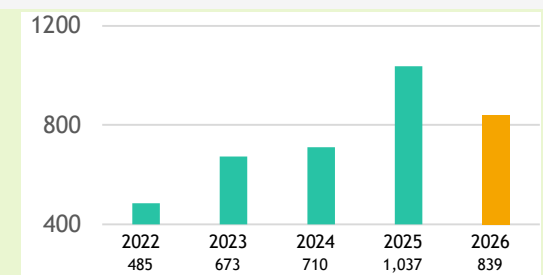
3期連続の増益↑



### ③（当期純利益） ▲1億97百万円 減益 ↓

- ・ 前期投資有価証券の売却益 ▲161百万円（利益の減少）
- ・ 前期と当期における税金費用の差

4期ぶりの減益↓



### 3. 売上高・営業利益の推移

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	61,266	63,792	60,656	<b>62,367</b>	<b>60,036</b>
営業利益	927	794	806	<b>808</b>	<b>959</b>
原油価格※ドバイ原油 (\$/バレル)	78	92	82	<b>78</b>	<b>68</b>
為替レート(TTS) (USD/JPY)	113	135	144	<b>153</b>	<b>150</b>
トピックス	2022年2月 <b>原油価格の高騰</b> (ロシアのウクライナ侵攻)	2023年5月 <b>コロナの終焉</b>	2024年5月・12月 <b>駿河屋新規出店</b> (駿河屋日向店・ 駿河屋七ツ島店)	2025年3月 <b>韓井新規出店</b> (韓井七ツ島店)	2026年3月 <b>原油価格の高騰</b> (米国のイラン攻撃)

## 4. セグメント別 売上高

### ● 「エネルギー」 売上高：449 億 30 百万円（前年同期比 ▲5.5% ↓）

▶ 減収要因：売上高の減少（▲26億 15百万円 ↓）

- 1 燃料油の売上減少(▲17億26百万円)（要因：販売数量の減少と販売単価の下落）
- 2 LPガスの売上減少(▲15億9百万円)による影響（要因：販売単価の下落と販売数量の減少）

### ● 「ライフスタイル」 売上高：76 億 6 百万円（前年同期比 ▲2.5% ↓）

▶ 減収要因：売上高の減少（▲1億 94百万円 ↓）

- 1 建設部門の売上減少（前期大型物件の反動）
- 2 タイヤ販売の売上減少による影響（要因：タイヤ販売本数の減少）

### ● 「フード&ビバレッジ」 売上高：75 億円（前年同期比 +6.8% ↑）

▶ 増収要因：売上高の増加（+4億79百万円 ↑）

- 1 外食部門の新店舗による売上増加（KFCイオン延岡店(2025年6月)、KFC日南店・韓井出水店(2026年3月)）

※前期出店：KFCイオン鹿屋店(2024年11月)、KFC中山町店(2024年12月)、韓井七ツ島店(2025年3月)

## 4. セグメント別 営業利益

### ● 「エネルギー」 営業利益： 10億 59 百万円（前年同期比 +14.6% ↑）

▶ 増益要因：営業利益の増加（+1億 34 百万円 ↑）

- 1 ガス部門における配送売上の増加、採算販売の浸透等
- 2 ガス消費設備費用の減少、海上基地等のメンテナンス費用の減少

### ● 「ライフスタイル」 営業利益： 1億 81 百万円（前年同期比 +28.4% ↑）

▶ 増益要因：営業利益の増加（+ 40 百万円 ↑）

- 1 駿河屋 2 店舗の新規出店による売上高・粗利高の増加
- 2 前期発生の新規出店費用の減少

### ● 「フード&ビバレッジ」 営業利益： 5億 61 百万円（前年同期比 +4.1% ↑）

▶ 増益要因：営業利益の増加（+ 22 百万円 ↑）

- 1 KFC店舗の新規出店に伴う売上高・粗利高増加
- 2 KFCの新店舗による経費の増加、改装費用の増加

## 5. 2027年3月期 業績見通し

(百万円)

	2027年3月期 (次期見通し)	2026年3月期	増減	増減率
売上高	66,437	60,036	6,400	10.7%
営業利益	1,054	959	94	9.9%
経常利益	1,501	1,400	100	7.2%
当期純利益	881	839	41	4.9%

2027年3月期の連結損益の見通しは、

2期ぶりの増収

4期連続の増益 (営業利益)

2期ぶりの増益

予定。